

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学 : トリーア大学

留学先での所属学部・研究科 : Germanistik

留学先での在籍身分 : 交換留学生

留学期間 : 2016 年 10 月 ~ 2017 年 7 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 人文学研究科

学年（出発時） : M1

本報告書記入日 : 2017 年 8 月 13 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 10 月 24 日

学年終了月日 : 7 月 26 日

学期 :

① 10 月 24 日 ~ 2 月 13 日

② 4 月 19 日 ~ 7 月 26 日

③ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

④ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

哲学、古代史学、日本学等の文系学問が特に盛んである。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

日本学学生やIZ(大学の留学生支援団体)によるサポート。

勉学面でのサポート :

特がない。studipと呼ばれる学生ポータルで各自履修している授業の情報を確認する。

精神面でのサポート :

日本学科学生会によるイベント提供やIZによるバディ制度。

住居・生活面でのサポート：

留学生担当事務局やstudiwerkによるサポート（主にメールや留学生向けのオリエンテーション時）。入居に際しては日本学科の学生が手伝ってくれる。

課外活動のサポート：

大学構内には、学生が自由に参加できるスポーツ活動のビラが貼ってある。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい

いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

入寮時にベッドカバー、シャワーカーテン等自分で調達する必要がある。また、寮の管理人の事務所の営業時間が一日に30分～1時間程度と少し短いので、気をつけた方が良い。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

学研災付海外留学保険（「付帯海学」）（神戸大学指定の保険）

また、上記以外で加入した保険があれば、ご記入ください。（留学先の国・大学が義務付けている保険等）

AOKという留学先の大学が提供する健康保険

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

学生寮では1か月に30GBまで無料で通信できる。（10ユーロで20GBの容量追加が可能。）

大学でのPCの使用の可否：使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

主に図書館内のコンピュータルーム。日本語入力は設定をすれば可能。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通わなかった。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

特にない。

3-4. 銀行口座等について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。
(現地で口座開設、キャッシングパスポート利用等)

現地でSparkasseという銀行の口座を開設した。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

日曜日や祝日はお店が一日中休みになることが多い。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

現地在住の日本人の方何人かと交流があった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

留学先の大学で日本語教育のインターンシップを行った。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

比較的小さな街であり、治安はとても良い。外国人に対しても親切である。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

しなかった。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) 日本学生支援機構, 80,000 円／月
その他（渡航費等の支給）_____円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

大使館や留学先の大学のホームページ。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

特にないと思うが、歯ブラシや薬や洗濯ネット等、こだわりのある人は日本から持って行っても良いかもしれない。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：() 点 → 帰国後 () 点

語学はもちろん向上したし、日本との文化や社会制度の違いをたくさん身をもって知ることができた。また、新しく将来就きたい仕事も見つけることができた。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

入国直後の移動。まだ自分のドイツ語に自信がなかったので、目的地への行き方を聞くのに少し苦労した。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

大学には、留学前・留学中を通して情報提供等十分な支援や助言をいただいた。これ以上の要望は特にない。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めたいと思う。街自体静かで落ち着いており、留学関連の事務所や日本学科の学生による留学生へのサポートも充実しているため、とても過ごしやすい環境である。そして、ワインの産地、古代ローマの遺跡が残る歴史的な街であることも魅力の一つである。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 3
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

留学先大学：トリーア大学

留学先での所属学部・研究科：Germanistik

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2016 年 10 月～ 2017 年 7 月

神戸大学での所属学部・研究科：人文学研究科

学年（出発時）：M1

本報告書記入日：2017 年 8 月 13 日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	Deutsch: Mittelkurs	Christoph Dähling, Alexandra Valentin	3	6	1 5	ドイツ語の授業。中間テストと期末試 験がある。
2	Deutsch: Sprechkompetenz	Alexandra Valentin	1	2	2 0	ドイツ語の授業。毎回の出席と授業内 での積極的な発言が大事。
3	Japanische Geschichte	Prof. Dr. Andreas Regelsberger, Benedikt Vogel	1	3	4 0	日本史概説。期末試験がある。
4	Grundzüge der deutschen Sprachgeschichte	Dr. Natalia Filatkina	1	3	6 0	ドイツ語史。留学生は期末に口頭試験 を受けることができる。
5	Literaturwissenschaft - Probleme, Theorien und Modelle	Prof. Dr. Herbert Uerlings	1	3	6 0	ドイツ文学理論。留学生は期末に口頭 試験を受けることができる。
6	Schreibbegleitung für internationale MA- Studierende der Germanistik	Sarah Thiery	1	2	1 0	アカデミックライティングの授業。毎 回の出席と宿題の提出が必須。
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は主に Seminar(ゼミ・演習)、Vorlesung(講義)、Übung(語学等の授業)の3種類
があり、それぞれクラスサイズは異なる。成績評価は日本のものと特に変わりなく、授業によっては留学生のための試験が用意されているものもある。**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃：150,000円

・住居費：(月額) 35,000円 × (留学月数) 10 ヶ月 = 350,000円

・食費：(月額) 30,000円 × (留学月数) 10 ヶ月 = 300,000円

・保険料：150,000円

・その他：50,000円（学生証発行と二学期目の更新）

合計：1,000,000円（留学期間全体の費用）

その他　自由に記入してください。(800字～)

トリーア大学に二学期間留学しました。この紙面をお借りして、私の留学生活について報告させていただきます。

まず、私が留学先としてこの大学を選んだのは、トリーアが比較的小さな街でありながら、日本とのつながりもあるという理由からでした。トリーアは古代ローマ時代の遺跡や広大なワイン畠のある落ち着いた地域で、ドイツの中では気候も穏やかです。大学には日本学科があり、街にも日本の生活用品・食品などを揃えたアジアンショップがあります。初めての外国での長期滞在に不安があった私にとって、トリーアの特色・地域柄は大変魅力的でしたし、実際に快適な生活を送ることができました。

留学中には戸惑うことが多々ありました。私は神戸大学からトリーアに留学する初めての学生だったので、色々な情報を収集するのに苦労し、渡航前の準備を十分にすすめることができませんでした。しかし、ドイツ入国後はトリーア大学の日本学科の学生や留学担当の職員さんの手助けで、大きな問題もなく留学生活を始めることができました。また、トリーアには日本他の大学からの留学生もたくさんおり、不安を感じることはませんでした。ただし、言わずもがなかもしれません、日本人とばかり関わりをもってしまうのには注意しなければならないと思いました。そして、分からぬことがあれば、臆することなく何でも他人に聞くことが大事だとも思いました。

学業に関しては、ドイツ語で授業を受けるのは当然容易ではありませんでしたが、それでも学んだことはたくさんありましたし、徐々に慣れていくことができました。それから、私はドイツ語文学を専攻しているのですが、日本では入手することのできない文献や資料を手に取ることができ、とても幸せでした。留学中にそれらの資料をじっくり読むことは叶いませんでしたが、それでも手に入れることができただけで留学した甲斐があったと思います。

学業以外のことについて、私は留学を開始した当初旅行などの活動をする気持ちはあまりありませんでしたが、ドイツでの生活に慣れていくにつれて、もっと色んなもの・ことを見たり経験したりしてみたいという気になり、自分なりに興味のあることにチャレンジできるようになりました。それらの経験は自分の学業や自分の将来を考える上での助けになったと思っています。そのようなことができるのも留学の利点だと実感しました。

以上、簡単な報告でしたが、留学に際して本当にたくさんの方々のお世話になりましたので、この場をお借りして感謝の気持ちとお礼を申し上げたいと思います。